

事務事業評価一覧(課別)

令和7年度

市長公室ジオパーク推進課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	1,783	コスト	成果	
2789 霧島ジオパーク推進事業	1,783	→	↑	532-01

1. 基本情報									
事務事業名		2789 霧島ジオパーク推進事業							
政策名		5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)			所属		ジオパーク推進課		
施策名		3. 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開							
基本事業名		2. 広域的な連携の推進			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①錦江湾奥会議や霧島ジオパーク推進連絡協議会等の活動を通じ、様々な自治体と防災・環境・観光などの分野で連携を推進します。 ②ユネスコ世界ジオパークの認定に向け、桜島・錦江湾ジオパークと霧島ジオパークを統合したエリアでの活動を進めるとともに、他ジオパークとの情報交換や交流を通じて、ジオパーク全体の質の向上に貢献します。				算	款	02	総務費	
					科	項	01	総務管理費	
					目	目	09	企画調整費	
					事業期間				平成20年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)			根拠法令 条例等		特になし	
	①錦江湾奥会議・霧島ジオパーク推進連絡協議会の構成市町 ②市民		①共通の課題が解決される ②持続可能な地域社会の一員となってもらふ			関連計画		第2次霧島ジオパーク基本計画(2022-2029) 霧島ジオパークアクションプラン(2022-2029) 霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地球遺産(地形・地質、文化、自然)を保全し、教育や観光への活用、防災への取り組みを推進する。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	霧島市に在住する住民	霧島市に在住する住民数		人	121,379	122,830	122,441	122,771	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	ジオパークの活動に関心を持ってもらう	ジオパーク関連事業への参加者数		人	1,309	1,400	1,480	1,400	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		1,844	1,783	1,843	構成5市2町の行政、民間団体等と連携し、ジオの魅力・特性を活かした観光の推進、防災意識の高揚、郷土愛の醸成を図る取り組みなど、多種多様な事業を展開した。 1.調査・研究・保全に関する取組 霧島ジオパーク学術研究発表会(5件)、湿地の生き物観察ツアー など 2.教育に関する取組 小中高等学校への出前講座・野外活動、教職員フィールド研修、霧島ジオパーク教育教材制作 など 3.防災に関する取組 まちあるきツアーin霧島、新燃岳噴火に関する情報共有会議など 4.観光・普及啓発に関する取組 山々野金山めぐりと砂金さがしツアー、各市町等主催イベントでのPRブース出展 など 5.ネットワークへの貢献に関する取組 全国大会や国際会議での取組事例等の発表 など				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	1,844	1,783	1,843					
5. 振り返り<SEE (check) >									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はある		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					***		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					***		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					***		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		↑ 拡充	日本ジオパークのエリア拡大認定時に指摘された未着手課題への取り組みを進め、秋季に実施される再認定の現地調査に対応し、再認定の取得を目指す。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							